

運営委員推薦投票の結果報告！

光赤天連会員の投票の結果、以下の4人の方が当選となりました。

- (1) 本原顕太郎（国立天文台）
- (2) 長尾透（愛媛大学）
- (3) 高田昌広（東京大学）
- (4) 本田充彦（岡山理科大学）

この4名の方は2021年10月～2025年9月の4年間の任期となります。継続の委員は板由房（東北大学）、稲見華恵（広島大学）、大朝由美子（埼玉大学）、本田敏志（兵庫県立大学）の4名で、任期は2023年9月までです。皆様よろしくお願ひします。

運営委員推薦投票の結果報告 2

今回は83名(投票率26%)の方から301票の投票がありました。

18	本原顕太郎	国立天文台	6	岩室史英	京都(同一機関)
14	長尾透	愛媛	6	松永典之	東京(同一機関)
12	高田昌広	東京	6	松尾太郎	名古屋
11	土居守	東京(同一機関)	6	西山正吾	宮城教育
9	本田充彦	岡山理科	6	太田耕司	京都(同一機関)
9	栗田光樹夫	京都(年齢順)	5	金田英宏	
7	小西真広	東京(同一機関)	5	秋田谷洋	
7	松岡良樹	愛媛(同一機関)	5	森谷友由希	
			5	成田憲保	
			5	大藪進喜	
			5	嶋作一大	

運営委員推薦投票の結果報告 3

運営委員の決定について、以下の議論があった。

- 何度も運営委員をお願いするのはよいのか(最多の方で3回、他2回引き受けていただいた方は複数名)
- 運営委員会細則第6項で「最下位当選者が同数の場合、年齢の若い人を当選とする。」となっているが、削除したほうがよくないか。ダイバーシティは投票者が意識していただきたい。あるいは「最下位当選者が同数の場合、運営委員会がダイバーシティを考慮して決める。」に？
- これまで投票多数の方が「当選」で、同一機関の方を除き、機械的に打診することになっていた。しかし、ダイバーシティを考慮して、運営委員で議論して打診順を変えるのがよいのではないか。そのための必要な規約の改正と、そのことを告示メールで明記しておくべきではないか。
- 長期にわたって運営委員を担えなくなった場合の補充の仕組みを作れないか。
- 第5項「投票は改選数以内の連記(電子メール)により行う。」の(電子メール)を削除すべき。

これらは次期運営委員に引継ぎ検討事項に。会則・細則の変更についての会則 or 細則の修正も。